

# 婦人会報

立教183年

10月

令和2年  
2020年



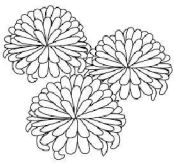
天理教婦人会旭日支部 通巻496号

# 岡本善孝六代会長様を悼む

旭日大教会六代会長岡本善孝会  
長様は、九月十四日（月）午後十  
時四十九分、ご自宅で大教会長様、  
前奥様、奥様、お子さまたち、お  
孫さまたちに見守られながら享年  
九十二歳でお出直しされました。  
善孝会長様のお出直しの悲報が  
伝わると、翌朝より慕う人々が引  
きも切らず、お悔やみとお別れに  
訪れました。  
みたまうつしは十八日（金）午  
後六時三十分、告別式は翌十九日  
（土）午前十時三十分から、それ  
ぞれ一号館四階講堂で執り行われ  
ました。

## 六代会長様ご足跡

昭和四年一月二十二日、五代  
会長岡本重善様、隅栄様の長男  
として大阪にてご出生されまし  
た。幼き頃より、人より優れて、  
聡く賢く、旧制天理中学校、旧  
制広島高等学校を卒業後、三十  
年には慶應義塾大学卒業（仏文  
学専攻）、その頃としてはめず  
らしく、三十六年慶應義塾大学  
院博士課程を修了し、広く深く  
究められ、天理大学フランス学  
科にも奉職されました。



ありし日の善孝会長様  
（第49回婦人会長様御臨席総会にて）

お道においては、昭和二十年  
四月二十五日、尊きおさづけの  
理を拝戴され、三十三年四月に、  
青年会旭日分会委員長を拝命さ  
れ、若きあらしきとうりようの先  
頭に立たれお導き下さいました。  
三十七年、青年会本部実行部  
員を拝命、四十二年には少年会  
旭日団を結成し、初代団長に就  
任され、道の子の育成に丹精を  
注がれました。



善孝会長様と静子奥様  
(第49回婦人会長様御臨席総会にて)

昭和三十八年三月二十八日、親神様の御守護のもと、静子奥様とご結婚され、翌年五月に長男である現大教会長善弘様のご誕生。お子さまは三男一女と子宝に恵まれ、忙しい日々の中にも、笑顔のあふれる日々を過ごされました。



昭和四十六年十二月二十六日、旭日大教会六代会長任命のお許しを戴き、就任されました。翌四十七年、教会本部詰員を拝命。教祖百年祭三年千日活動の真つ只中、昭和五十八年六月二十九日に、別席取次人を拝命し、続いて十二月には奈良県公安委員に任命され、その後公安委員長を務めるなど、教内外問わず、ご活躍、ご邁進されました。教祖百年祭を迎えんとする三年千日の活動にはちばの理を受け、部内教会を始め、布教所の先々まで西に東に、雨の朝、風の夕べも丹精の限りを尽くし、会館ふしんや構内整備、そして、旭日大教会の長年の悲願であった百名称に向けて、二十ヶ所に及ぶ名称設立のご守護を頂かれ達成されましたことは、今も語り尽くせないほどのご功績であり



善孝会長様と静子奥様  
(平成7年委員部長後継者講習会にて)

ります。

平成七年には旭日大教会創立百周年を三代真柱様のお入込みを頂き盛大にとめられ、平成十二年十二月に現会長様に担任を譲られ、勇退されました。







平成十三年五月九日、勲五等  
 双光旭日章を受勲。その後は生  
 来よりの姿勢のごとく、先々を  
 見据えて、静かに部内教会を始  
 め教子教人を始め、多くの子ら  
 の道の成人を楽しみに見護りな  
 がら晩年をお過ごしくださいな  
 した。



ご遺影が掲げられる中、告別式が厳かに執行されました  
 (1号館4階講堂にて)

みたまうつし  
 告別式

9月18日  
 9月19日



最期のお別れ



告別式は秋晴れの中お見送りとなりました

## 前大教会長様の思い出

岩崎初代（家城）

私は学校卒業後、一年間の本部勤務を終えて修養科修了後、一年位大教会に住み込み、主に会長宅のひのきしんをさせて頂きました。それまで余り大教会に馴染みがありませんでしたので、修養科中、朝夕のおつとめに最前列でをどりをさせて頂く事を知りませんでした。前大教会長様はおつとめに対して厳しく、普段は何も言われませんが、鳴物が揃っていないかったり、調弦が狂っていた時には、鳴物の先生方に注意され、修養科生がおてふりをよく習得していなかった時には世話係の先生に「よく見てやりなさい」と言われると聞いていたので、同期の人達と何度も練習をして、おつとめに間違えないようにと備えましたが、前大教会長様のすぐ前でのてをどりはすごく緊張してつとめさせて頂きました。しかしそのお蔭でおてふり・鳴物を身に付ける事ができたと思っています。

又、会長宅のひのきしんをさせて頂いた時のことです。前大教会長様は、お茶が大好きで会長宅の朝席の部屋で、いつも居られる横に茶器を置き、ご自分でお茶を入れておられました。ある時、私がお客さんにその場でお茶を入れておりましたら、前大教会長様が後で「お茶は急須に残さず最後の一滴までしつこい程絞り切ったら何回も美味しく飲めるんですよ」と、お茶の入れ方から教会生活上での細かい心遣いまでお仕込み頂いた住み込み生活でした。主人と結婚した時には、大変喜んで下さり、後日主人に「昔、家城へ巡教に行く時、あなたの奥さん達姉妹が裸足で外を走り回っていた。そんな子が今ではこうして三人の子持ちですからね」としみじみお話し下さいました。そして時は定かではありませんが、会長宅に伺った時、前大教会長様にお会いする機会があり、その時「岩崎さんは息子さんを二人授かりあなたの子供の頃と同じように走り回っているのを見ました。いんねんを切ってもらわれませんでしたね」と突如言われ、私はとてもビックリ致しました。私はその事だ

けではなく、まだ我が家のいんねんは切れていない。神様は静かに様子を見て、親々の信仰と伏せこみのお蔭でいんねんが芽吹くのを押さえて下さっているだけだと思っていましたので、思いも寄らない前大教会長様のお言葉に『あー有難いな、勿体ないな』と感動致しました。

会長を譲られてからも部内の教会や信者に至るまで事細やかに気遣って下さっていて、今でも穏やかなやんわりとした語り口で「岩崎さんすっかりつとめさせて頂いてますか？」と聞かせるように思います。

## 前大教会長様を偲んで

谷口茂美（西紀港）

九月十五日朝、六代会長様のお出直しの報を頂き、驚きと享年九十二歳、もうそんな年齢になられていたんだと思いました。

しばらくお会いする機会がなかった



ので、私の中では、お元気で優しい前大教会長様しか思い出されませんでした。

西紀港分教会は、教祖百年祭の年、前大教会長様の旭日大教会百名称設立の思いを受けて昭和六十年十二月二十六日、教会設立のお許しを頂き、旭日で百番目の教会として設立されました。当時、神戸の布教所へ前大教会長様がわざわざ足を運ばれ、信者を集め、教会設立を願われた、と私が嫁いだ頃、その時の様子を前西紀港分教会初代会長から、よく聞かされました。

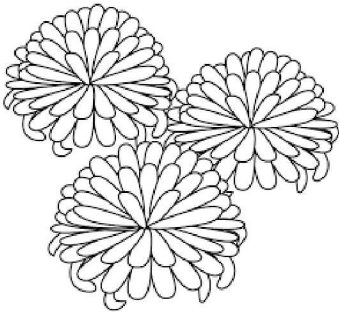
平成四年十一月、前会長が病に倒れた時には病院に来て下さり「大変やけど、御守護頂けるように心倒さずに頑張らなさい」と優しいお言葉をかけて下さいました。前会長の身体を考え、会長交代するべきかと相談に行かせて頂いた時には、「今はそんな事は考えなくていいから、会長の介護をしつかりさせてもらって、教会として信者さんに喜んでもらえる様に勤めなさい」と親心あふれるお言葉を頂き、私たち

夫婦はもつと成人させて頂かなければいけないと思いました。

阪神大震災の時には、大教会から色々とお気遣いを頂き、お礼に伺うと「屋根直ったか、教会の者、信者さん方、皆、無事でよかったですね。」と優しい声で仰ったお顔を思い出します。前大教会長様は、私には本当に優しい方でした。

前大教会長様の「教会にならしてもらい」という、お言葉がなかったら、西紀港分教会は設立されていません。又、私たち信者一同が、色々と節を頂きながらも、今、幸せであるのは、教会を設立し、それぞれと信仰が繋がっているおかげだと思います。

前大教会長様、本当にありがとうございます。



## 『若人の祈り』に向かって

【旭日女子青年10月のテーマ】

喜びの輪を広げよう

9月に見つけた喜びを、10月は一緒に広げていきましょう!

誰の仕事とか決まっていなようなことを、率先してやっていけたらいいですね。

それぞれ、学校や職場、家庭で、周りの人に喜んでもらえるようなことを探して行い、明るく毎日を過ごせるといいですね。

○10月の女子青年

10/17 (土)

LINEグループビデオ通話は

10/31 (土)

} 20時~

たくさんの  
ご参加を  
待っています!

# 十一月例会案内

日時 十一月五日(木) 午前十時  
 場所 旭日大教会  
 内容 教祖祭  
 よろづよ八首

お話「ひのきしん」について

家城委員部 岩崎初代

お弁当配布

## 女子青年例会案内

日時 十月十七日(土) 十月三十一日(土)  
 両日ともに、午後八時  
 内容 オンライン例会(別頁参照)

## ◎十一月例会役割

扨者	庄司 典子	木村 昌子
賛者	生駒 恵美子	森下 由紀子
指図方	村井 明子	

※十一月の鳴物当番はありません。



## ～茜の会～

茜の会では11月29日に開催される「若人の祈り」までの3ヶ月間の理づくりとして茜の会の一人一人が自分の出来る事をそれぞれの場所でさせて頂いています。その中で、小さな子供を連れてでも何か大教会でひのきしんをさせて頂けたらと9月28日、29日に大教会の夕食準備と食堂の窓ふき、炊事場の食器棚の清掃ひのきしんを勇んで和気あいあいとさせて頂きました。次回も予定しています。



◎十一月月次祭当番  
 ※十一月の炊事当番・託児当番はありません。

発行日 令和二年十月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町二三八

天理教婦人会旭日支部